

2020年度科技振オシラインセミナー

現象の評価
われる技術
端末やス
テリアル用
の莊司郁夫
11月27日
参加
ナード要
イル福
ら12月に
科学技術
「0」

20年度科技术振兴センター(主催・群馬大
学)、北関東産官学研究会は8月から
かげ、9講座が開催された。新型コロナウ
イルの影響で、今年度はすこしオフセットセミナー(講演料)での開催だった。
は群馬大学教授法を解説。電子機器用微細
繊維組合部の信てみだ。マルチマ接合部の破壊強度を測定し
氏が「マルチマ接合部の信てみだ。
と題し講義携同教授の半井禎氏は
マーフォンな「軽量金属構造の未来」を
る産業分野で便テーに講義。身の回りに
手法と壽命測定などを紹介し、軽量化と高
さに付けて、劣化ある多孔質(ポラス)構

參加者增加分析・検討

度化の両者といつて構造上「プラスマイ」の作用が翻訳される。ボーラーの利点を説明した。ボーラーは耳で吸音性や工夫は耳で吸音性にも優れての分解を含む水処理による吸収特性にても優れ同大教授の中沢信重が「基礎知識や活動応用について講義してました。」
10月23日は同大教授の大例について話をじた。
◇
嶋孝之氏が「高電圧と食作原理と用途セミナー」の開催について講義してました。
◇
9月18日は同大教授品・バオ・水の融合を目指して」と題し講義。高畠原宏樹氏が「分子を備して強い繊維をつくる」を講義しました。

地中熱利用研究会のベース (高崎市のGメッセで)

社会の言語と倫理の技術

首都圏イブニングサロン開催 北部

